

支部のトピックス(四国支部)

地域住民の防災意識の啓発とともに「建設コンサルタント」をPR

未曾有の大災害である東日本大震災発生から10年以上の歳月が経過しましたが、今世紀前半には南海トラフ巨大地震や首都圏を襲う直下型地震の発生が懸念されています。また、地球温暖化の進展に伴い、2019年東日本台風、2020年7月豪雨など、全国各地で豪雨や高潮などによる被害が頻発しています。

そこで、四国支部（徳島県部会）では、地域住民の防災意識を啓発することを目的として、徳島県主催の「とくしま防災フェスタ2022」にブースを出展し、発生が切迫している南海トラフ巨大地震の発生周期や被害予想などと併せて、近年頻発している自然災害による被害状況や“知っていると便利”な防災情報などを冊子やパネル、モニターなどで示しました。

来場者には“防災意識や建設コンサルタントの知名度”等についての簡単なアンケートを実施し、スタッフが直接、建設コンサルタントが担う役割や社会インフラとの関わり、防災・減災に繋がる活動等についての説明を行うことで、建設コンサルタントの知名度向上とイメージアップを図りました。



■ イベント概要

「とくしま防災フェスタ 2022（徳島県立防災センター[北島町]）」にブースを設け、「天災は忘れたころに来る！ ～災害にそなえる～」と題した活動を行いました。自然災害による被害状況や“知っていると便利”な防災情報について、スマートフォンで利用できるQRコードや概要を記したシート及び建コン活動紹介シート、協会パンフレットなどを配布し、来場者にアンケートを実施しました。

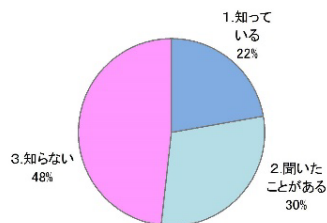


参加した建コンスタッフは、協会パンフレットや防災情報冊子を片手に、建設コンサルタントの役割などについて説明しました。アンケート回答者には防災用品の『保存缶』を配ることにしましたが、これが功を奏したのか、ブースが混み合うぐらい大盛況で、最終的には約300名の方々に協力いただきました。

【令和4年度集計】

Q4. 建設コンサルタントを知っていますか

	回答数	率
1.知っている	68	22.3%
2.聞いたことがある	90	29.5%
3.知らない	147	48.2%
合計	305	100.0%



令和4年10月28日
建通新聞掲載記事

アンケート調査結果では建設コンサルタントを「知っている」、「聞いたことがある」と回答した方の割合は3年前の51%から52%とほぼ横ばいの推移でした(9年前は26.5%:約2倍↑)。今後も継続して活動を行い建コンの知名度向上に努めたい。